

仏教Life

at 築地本願寺

——— 心豊かに生きる道のりを より多くの方々へ ———

浄土真宗のみ教えを依りどころとし、心豊かに生きてゆくことについて、参加者の皆さまと一緒に考え、学ぶ機会とさせていただければと思います。

第1回 2019年2月1日(金) 14:00~15:30

ストレス社会を生きるヒント



四夷 法顕(しい のりあき)

宗学院研究員。文学博士。

ゴータマ・ブッダ(釈尊)の言葉を通して、生活環境や人間関係など悩み多きストレス社会を生きていくヒントを探してみたいと思います。

第2回 2019年3月4日(月) 14:00~15:30


「さようなら」の先にあるもの



桑原 昭信(くわはら あきのぶ)

宗学院研究員。文学博士。

「死んだら終わり」「何もかも無くなる」と、悲観的・否定的な声をよく耳にします。本当にそうでしょうか？

各回の概要については裏面をご覧ください 

会場

浄土真宗本願寺派 築地本願寺内
インフォメーションセンター 1階多目的ルーム
〒104-8435 東京都中央区築地 3-15-1
※東京メトロ 日比谷線「築地」駅 出口すぐ

お問い合わせ

築地本願寺コンタクトセンター
0120-792-048



第1回

2019年

2月1日(金)

14:00~15:30

仏教LIFE ストレス社会を生きるヒント

講師

四夷 法顕(しい のりあき)

1985年生。龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程修了。文学博士。現在、浄土真宗本願寺派信行寺(兵庫県)住職、浄土真宗本願寺派宗学院研究員、龍谷大学非常勤講師などをつとめている。

概要

モノが豊かになり、科学技術も発達したことで、私たちの生活はより便利で快適になりました。その一方で生活環境や人間関係など様々な問題がうずまき、「ストレス社会」と言われて久しい時代でもあります。

今からおよそ2500年前、ゴータマ・ブツダ(釈尊)もかつては私たちと何ら変わらない苦悩を抱えていました。本講座では人間ブツダの言葉を通して、ストレス社会を生きていくヒントを一緒に探してみたいと思います。

第2回

2019年

3月4日(月)

14:00~15:30

仏教LIFE 「さようなら」の先にあるもの

講師

桑原 昭信(くわはら あきのぶ)

1982年生。龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程修了。文学博士。現在、浄土真宗本願寺派宗学院研究員、龍谷大学アジア仏教文化研究センター博士研究員、同大学非常勤講師などをつとめている。

概要

私たちは様々な出会いと別れを繰り返しながら、毎日を過ごしています。この別れのなかにも様々なものがあり、時には今生の別れとなるものもあります。日頃は他人事のように思える「死」ですが、いつかは自分事として受け入れていかないといけない時が必ずやってきます。

「死」に対する考えは人それぞれですが、なかには「死んだら終わり」、「死んだら何もかも無くなる」などと、悲観的・否定的な考えを持つ方も少なくありません。やはり、終わりなのでしょうか?何もかも無くなるのでしょうか?

そこでこの度は、「さようなら」という言葉を多角的に捉え、そのあり方を先ずは見つめ直すこととします。そして、仏教、浄土真宗に基づきながら、その先に何があるのか、一緒に考えてみませんか?



宗学院 別科受講生 募集

浄土真宗の教義と安心を体系的に継続して学べます

科目・講師

安心論題



勸学・龍谷大学教授
深川 宣暢

本典概説



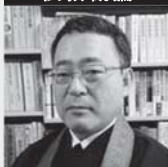
司教・龍谷大学教授
殿内 恒

三経七祖教義



司教・龍谷大学教授
武田 晋

仏教概論



司教・龍谷大学教授
藤丸 要

会場

龍谷大学大宮学舎本館
(京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1)

申込締切

2019年
4月12日(金) 必着

照会先(願書請求先)

〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派宗務所勸学寮内

浄土真宗本願寺派 宗学院事務室

TEL.075-371-5181(代)

<http://shugakuin.hongwanji.or.jp/>